

令和4年度のふるさと納税寄付金額が50億円を突破

三条市の令和4年度のふるさと納税寄付金額が、令和3年度の寄付金額の約3.3倍となり50億円を突破しました。

【本件のポイント】

- 令和4年度三条市ふるさと納税の寄付金額が50億円（昨年度の約3.3倍）を突破
- 年度当初に掲げていた目標金額25億円を大きく上回り目標額の2倍に
- 寄付件数は20万件（昨年度の約3.6倍）超え

【本件の概要】

ふるさと納税の令和4年度寄付金額が50億円を突破し、令和3年度の約15.1億円に対し、約3.3倍となりました。年度当初に掲げていた目標金額25億円をも大きく上回り、目標額の2倍となっています。寄付件数も20万件を超え、昨年の3.6倍となりました。

三条市では令和3年10月にふるさと納税を統括する澤CMOを公募により任用し、令和4年4月に市役所職員でチームを編成、ふるさと納税の運用をスタートさせており、1年間という短い期間で大きな成果をあげることができました。

三条市内の事業者にふるさと納税の理念を説明し、制度への理解をいただき、新規事業者開拓、新規返礼品開拓に注力してきたことが、地域の特色を生かした返礼品の提供につながったものと考えています。

そしてそこに、全国の三条市を応援くださる方々のお気持ちが表れ、寄付金額の増加となったものと感謝しております。

人気のあった返礼品の種別は、アウトドアメーカーが集積する「アウトドアの聖地」ならではのアウトドア関連の返礼品で、寄付金額全体の58%と寄付金額の増加を大きく牽引しました。

令和5年度も、これまで以上にきめ細やかに事業者様と連携し、三条市ならではの返礼品の提供につなげられるよう、事業者と共に新たな気持ちでスタートしてまいります。